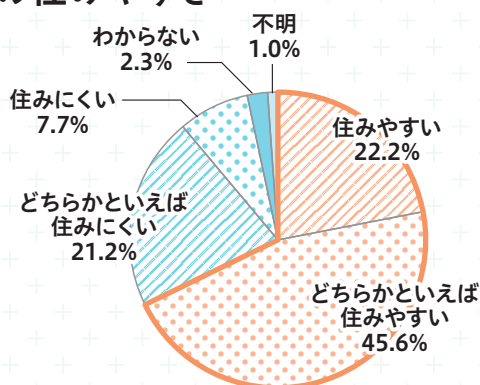


第3節 まちづくりの背景

3. 町民の意識（町民アンケート*より抜粋）

本計画の策定にあたり、町民の意識を把握するため町民アンケートを実施しました。18歳以上の町民1,000人を対象に、令和3（2021）年8月25日～9月8日に実施したところ、388人の回答を得られました（回収率38.8%）。

● 本町の住みやすさ



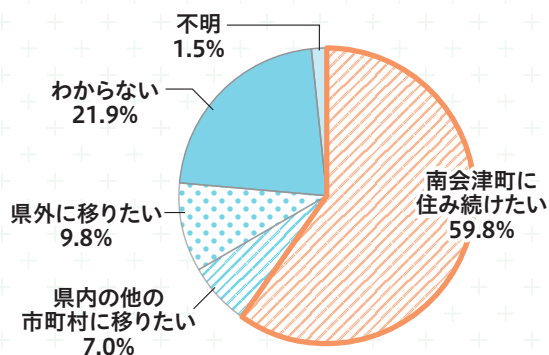
「住みやすい」
+
「どちらかといえば住みやすい」

67.8%

（平成27（2015）年調査：61.3%）

30歳未満	54.5%	30歳代	58.6%
40歳代	80.0%	50歳代	64.4%
60歳代	66.3%	70歳代	76.9%

● 今後の居住意向



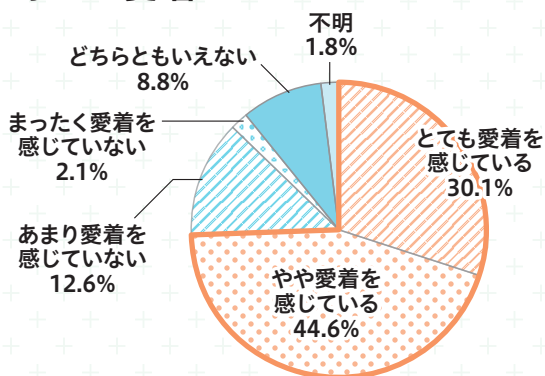
「南会津町に住み続けたい」

59.8%

（平成27（2015）年調査：54.6%）

30歳未満	38.6%	30歳代	37.9%
40歳代	52.0%	50歳代	59.3%
60歳代	67.4%	70歳代	81.3%

● 本町への愛着



「とても愛着を感じている」
+
「やや愛着を感じている」

74.7%

（平成27（2015）年調査：66.9%）

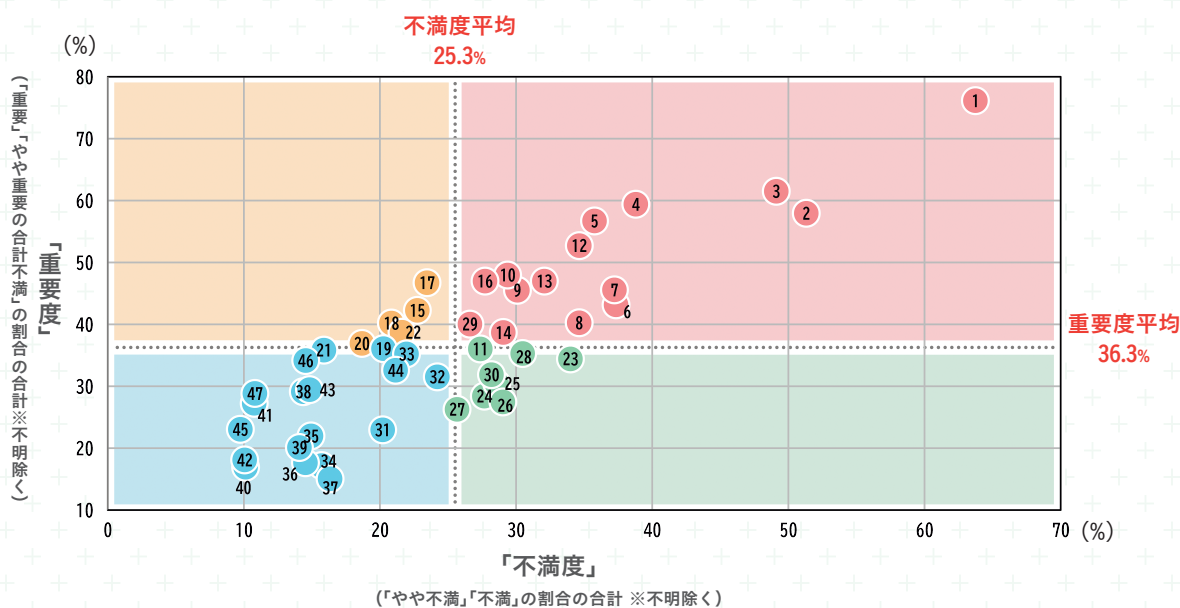
30歳未満	84.1%	30歳代	69.0%
40歳代	80.0%	50歳代	62.7%
60歳代	73.3%	70歳代	80.2%

*町民アンケート：そのほか結果については資料編73ページ参照。

● 各取組の不満足と優先度

本町が行う取組のうち、「安心できる地域医療の充実」「利便性の高い公共交通の確立」「安心して働ける環境づくり」「病気の重症化予防と医療費等の削減」に対しての不満足が高く、重要度が高いため優先して取り組むべきであると感じていることが分かりました。

取組の不満足と優先度



不満足が高く、重要度が高い項目	<ul style="list-style-type: none"> 1 安心できる地域医療の充実 2 利便性の高い公共交通の確立 3 安心して働ける環境づくり 4 病気の重症化予防と医療費等の削減 5 高齢者社会への対応 6 高度情報化社会への対応 7 観光業分野での挑戦 8 効率的・効果的な行財政運営 	<ul style="list-style-type: none"> 9 質の高い行政サービスの確保 10 教育環境の整備充実 12 安全で安心な道路の整備促進 13 地域の特性をいかした産業の育成 14 移住定住の促進と定住者支援の充実 16 克雪・利雪・親雪の推進と充実 29 集落支援の充実
不満足が低く、重要度が高い項目	<ul style="list-style-type: none"> 15 障がい者福祉の充実 17 みんなで支え合う子育て環境づくり 18 みんなで支え合う地域福祉の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 20 健全な子どもを育てる家庭教育の充実 22 自然環境の保全と自然資源の高度利用
不満足が高く、重要度が低い項目	<ul style="list-style-type: none"> 11 行政情報の共有による透明性の確保 23 計画的な土地利用の推進 24 多様なニーズに対応した住宅政策の展開 25 出合いの機会の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 26 町民との協働による景観づくりの推進 27 行政評価による進行管理 28 商工業分野での挑戦 30 各種産業間の連携による6次産業の確立
不満足が低く、重要度が低い項目	<ul style="list-style-type: none"> 19 農業分野での挑戦 21 犯罪や災害から地域を守る体制づくりと消費者の安全確保 31 地域間交流の推進 32 林業分野での挑戦 33 挑戦を応援する環境づくり 34 芸術文化の振興 35 充実した生涯学習社会の確立 36 男女共同参画社会の形成 37 国際交流の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 38 健康づくりに役立つ食生活と運動の推進 39 協働によるまちづくり 40 生涯スポーツライフの確立 41 自主的な健康づくりの推進 42 地域コミュニティ活動の推進 43 貴重な自然遺産と文化の保存・伝承 44 生活排水対策の充実 45 東日本大震災からの復興と安全・安心のまちづくり 46 環境衛生対策の充実 47 水道施設の計画的な整備と安全安心な水資源の確保

第3節 まちづくりの背景

■ 高校生の意識（高校生アンケート*より抜粋）

本町では、若者にとって魅力的な定住・移住政策を行い、若者の町外流出に歯止めをかけることを目的に、高校生の就職に対する考え方などを把握するためのアンケートを、毎年県立田島高校及び県立南会津高校の3年生を対象として実施しております。

本計画を推進し、8年後の理想の姿を実現するためにも、未来を担う若者の存在は不可欠となっており、若者に本町に住みたいと思ってもらうことが必要です。令和3（2021）年度に高校生71人を対象にアンケートを実施したところ、70人の回答が得られました（回収率98.6%）。

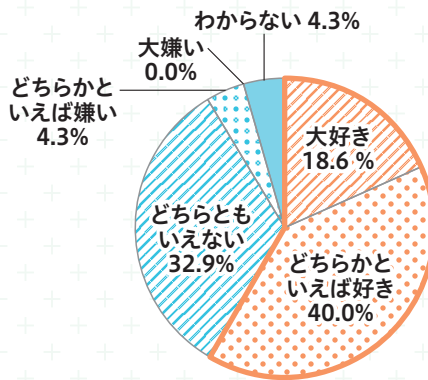
● 本町への愛着

南会津町が『嫌い』

4.3%

嫌いなところ（上位5つ）

- 1位 お店が少なく買い物不便 (52.9%)
- 2位 教養・娯楽施設がない (48.6%)
- 3位 おしゃれなショップがない (42.9%)
- 4位 働く場所が少ない (22.9%)
- 5位 公共交通が利用しにくい (21.4%)



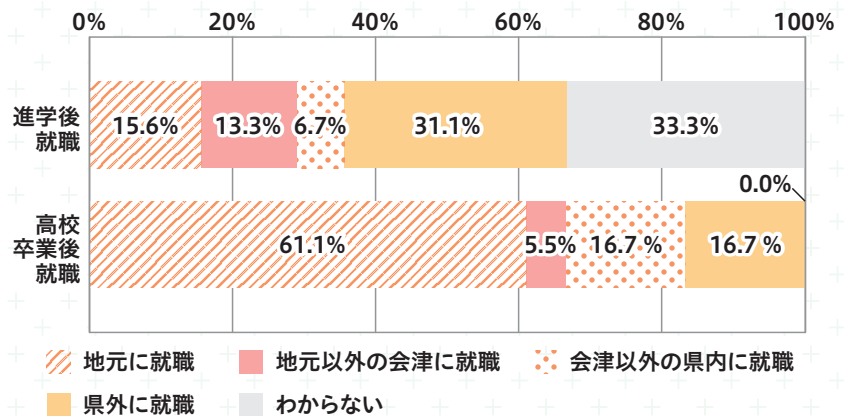
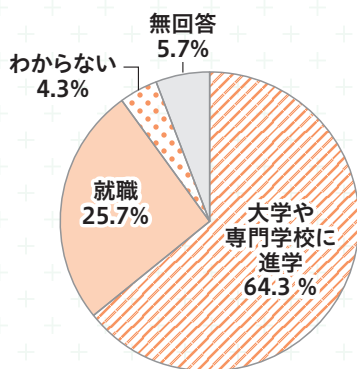
南会津町が『好き』

58.6%

好きなところ（上位5つ）

- 1位 自然が豊富である (55.6%)
- 2位 安心して生活できる (33.3%)
- 3位 のどかな雰囲気 (31.1%)
- 4位 四季折々が楽しめる (24.4%)
- 5位 美しい風景が残っている (13.3%)

● 卒業後の進路と就職先の意向



進学後就職の約16%、高校卒業後の約61%が町内に就職の意向

*高校生アンケート：そのほか結果については資料編80ページ参照。